

未来ある子どもたちを交通事故から守る、 こくみん共済 coop 「7才の交通安全プロジェクト」 横断旗の累計寄贈本数が200万本を突破！

～渋谷区立笹塚小にて寄贈式を実施、地域と連携した「交通事故のない、安全な社会づくり」へ～

こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：打越 秋一）は、未来ある子どもたちを交通事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」の一環として実施している横断旗の寄贈において、このたび累計寄贈本数が200万本を突破しました。

また、2026年9月18日には、寄贈先の一つである東京都渋谷区立笹塚小学校にて寄贈式を実施しました。本プロジェクトで寄贈された横断旗は、全国の小学校や児童館など、各地の児童の見守り活動に活用されています。

■地域社会とともに取り組む見守り活動—— 累計寄贈 200 万本の歩み

小学校に入学し、一人での行動範囲が広がる7才の子どもたちは、大人よりも目線が低く注意力が十分に育まれていないことなどから、歩行中の交通事故死傷者数が突出して多く※1、「魔の7才」とも呼ばれています。

こくみん共済 coop ではこうした社会課題に着目し、未来ある子どもたちを交通事故から守るため、2019年に「7才の交通安全プロジェクト」を発足いたしました。さらに、その一環として、2020年6月からは「マイカー共済」のお見積もり1件につき1本の横断旗を寄贈する取り組みをスタートし、全国の自治体や学校、地域で見守りを担う皆さまに届けてまいりました。そしてこのたび、横断旗の累計寄贈本数は213万本へ到達いたしました。この数量は、全国の全小学校数（約1.9万校※2）にあてはめると1校あたり平均100本以上に相当する規模となります。

※1 公益財団法人 交通事故総合分析センター調べ

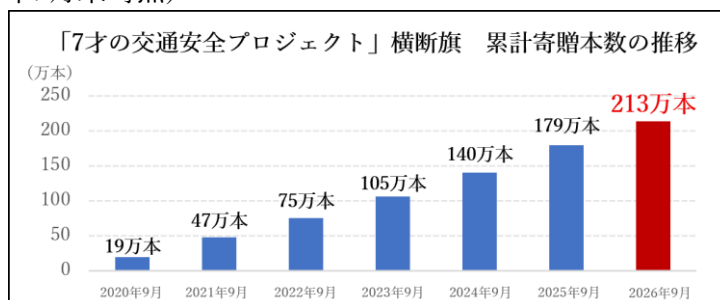
※2 文部科学省「学校基本調査」より算出

【7才の交通安全プロジェクト実績】（2026年9月末時点）

- 累計寄贈本数 : 213万本
- 寄贈エリア : 全国47都道府県
- 賛同協力団体数 : 3,675団体

プロジェクトにご賛同いただいている協力団体一覧：

<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj/group.html>



■渋谷区立笹塚小学校にて「横断旗寄贈式」を実施

2026年9月18日、寄贈先の一つである笹塚小学校（東京都渋谷区）にて横断旗寄贈式を実施しました。同校には、横断旗50本を寄贈するとともに、西田 香校長をはじめ、通学路で見守り活動を行う児童安全誘導員の方と子どもの交通安全に関する意見交換を行いました。

【寄贈の背景：交通量の多い大通りと通勤自転車が行き交う、笹塚小学校周辺の通学環境】

笹塚小学校の周辺は、甲州街道や中野通りなどの大通りに囲まれた交通量が非常に多いエリアです。登下校の時間帯は「通勤するビジネスマンの自転車がスピードを出して行き交う」「歩道と車道が分離されていない狭い通学路を通行車両がすり抜ける」など、都市部特有の危険と常に隣り合わせの状況にあります。

今回寄贈した横断旗は、同校の児童の登下校時における安全確保や、児童安全誘導員の方による日々の見守り活動に活用いただきます。



笹塚小学校近くの横断歩道:通学路のすぐ脇を自転車や車が行き交うため、児童との接触リスクが高い

■寄贈式における意見交換

当日は、交通量の多い大通り沿いでの登校時の混雑や、引越し等による転入増加で地域の危険な場所や交通状況を知らない児童が増えているといった都心ならではの事情をはじめ、保護者による毎朝の見守り活動の維持が難しくなっている地域の現状について意見を交わしました。

【渋谷区立笹塚小学校 西田校長コメント】

「当校では年に1回、警察の方をお招きして交通安全教室を開いているほか、新1年生の入学前説明会でも保護者の皆さまに事故防止を呼びかけています。また3年生向けには、PTAの協力のもと校庭に模擬道路や信号機を設けて実際に体験する『自転車安全教室』を行っています。ただ、子どもは夢中になると周囲が見えなくなってしまう面もありますので、危険に感じる点は多くあります。警察の方だけでなく、事故の状況や危険性に詳しい専門的な視点からお話いただく機会があれば、子どもたちにとって良い学びになるのではないかと思います。」



意見交換の様子(左:西田校長、右:こくみん共済 coop 仲田常務)



寄贈式の様子(左:こくみん共済 coop 仲田常務、右:西田校長)

【児童安全誘導員の方のコメント】

1年生は幼稚園や保育園の頃とは違う重い荷物やランドセルを背負って歩いているため、前のめりに転んでしまうこともあり、低学年の登下校は少し心配な面があります。子どもたちが帰る時間帯は、急いで移動する車や自転車の交通量が増える時間と重なるため、スピードを出した自転車や信号無視で入ってくる車両にヒヤッとすることもありました。

黄色い横断旗を持っているとドライバーからも気づかれやすくなり、子どもたちや地域の方にも「ここで見守ってくれているんだ、安心だ」という認識を持ってもらえる効果を感じています。活動が続ける中で、子どもたちだけでなく地域の方々からも声をかけられることが増えました。単に見守り活動を行うだけでなく、子どもたちが安心して過ごせる「ちょっとした手助け」になればと思って取り組んでいます。



横断旗を活用した見守り活動：児童の登下校時間帯に合わせ、黄色い旗を掲げた児童安全誘導員が通学路で声かけを行う

■今後の展望：「交通事故のない、安全な社会づくり」を目指して

こくみん共済 coop では、横断旗の累計寄贈本数 200 万本突破を踏まえ、今後も横断旗の寄贈を通じて各地の見守り活動を支援するとともに、これからも組合員・生活者の皆さまからの「たすけあい」の想いを形にし、地域全体で子どもたちを守る取り組みの定着と環境づくりを推進することで、交通事故のない、安全な社会づくりに貢献してまいります。

■7才の交通安全プロジェクトについて

こくみん共済 coop では「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という思いから、2019年より、みんなで子どもたちを事故から守っていく「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

7才前後の子どもたちは他の年齢に比べて交通事故に遭いやすいという社会課題を背景に、本プロジェクトでは、「地域・社会で守る」「子どもがルールを学ぶ」「ドライバーが安全運転を心がける」の3つの視点を軸に、一人一人の交通安全意識の向上を目的としたさまざまな取り組み・コンテンツを展開しています。

〈関連コンテンツ〉

- ・ [7才の交通安全プロジェクト公式サイト](#)
- ・ [横断旗の寄贈](#)
- ・ [4月4日「こども見守り活動の日」の制定](#)
- ・ [子どもと交通安全にまつわる実態・意識の調査](#)
- ・ [私のまちの7才の交通安全ハザードマップ](#)
- ・ [みつげよう！7才の交通安全マップ](#)
- ・ [交通安全オンライン授業](#)
- ・ [安全運転診断](#)



<こくみん共済 coop >

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万に備える」という仕組みです。少子高齢化社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>

たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先>こくみん共済 coop SDGs・ブランド戦略部
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232 / Email: koho@zenrosai.coop